

編集後記

今小路覚瑞学長が藍綬褒賞をうけられた。当然のこととはいへ、まことに慶賀のいたりである。別項彙報の記事を御参看ねがひたい。

印刷・製本代などの値上げに加へて郵便料金(第五種)の大幅値上げがあり、これらは學術雜誌の発行と送本とに大きな負担をもたらしてゐる。本誌もいままでのやうに上質紙を用ゐると、重量が増加するので今号から中質紙にし、また組版の行数・字詰を多くして頁数を少くした。寄贈交換先はほとんど郵送なので、その送料もたいへんである。一〇〇グラムまで八円であつたのが五〇グラムまで十円になつたのでは、実に二倍半の値上げで、まづたくお話にならない。銀行や証券会社、あるいは、百貨店、薬品会社などの宣伝広告類の殺到がこの値上げの主因になつたといふが、大学の紀要や學術誌がそれらの広告類とおなじ標準の郵送料であるとは、実に困つたことで、不合理なことである。せめて営利を目的としないものには、特別の措置があつて然るべきではなからうか。

(丁)

編集委員

荒井貞雄
田中重太郎
塩野緑子
馬淵卯三郎

昭和三十六年六月五日 印刷
昭和三十六年六月十日 発行

大阪市東区本町四丁目

編集兼 相愛女子大学
発行者 相愛女子短期大学

印刷所 協和印刷株式会社
京都市東山区東大路松原上ル

電話代表⑦七三一一三

大阪市東区本町四丁目

発行所 相愛女子大学
相愛女子短期大学

電話大阪⑧〇三九四番(代表)
〇三九五番(八番)
八八八〇番(昼・夜間)